

3 安心・安全な暮らしづくり

(8) 高病原性鳥インフルエンザ対策

国への提案事項

1 発生予防

- 年によって鳥インフルエンザの発生状況が異なることや、ワクチンが使用されている国もあることを踏まえ、世界の最先端の対策を収集し、より効果的な発生予防対策を示すこと。

2 迅速な防疫措置

- 鳥インフルエンザの連続発生が懸念される中、防疫措置を迅速に終了できるよう、養鶏業者のみならず国においても埋却地を確保するとともに、焼却処分についても国から市町の焼却施設や火力発電所などに対し協力を依頼するなど、国の主導による体制整備を進めること。

3 財政支援

- 鳥インフルエンザの連続発生など大規模に発生した場合には、農地等災害復旧事業における激甚指定時のように補助率を高める(96~98%)など都道府県への支援の拡充を検討すること。
- 発生及び移動制限を受けた農場と取引のある関連事業者(運送業や卵選別包装施設など)における損失補填の財政措置を講じること。

【提案先省庁：財務省、農林水産省】

3 安心・安全な暮らしづくり (8) 高病原性鳥インフルエンザ対策

現状/広島県の取組

【1 発生予防】

- 毎年度100羽以上を飼養する養鶏農場への立入を行い、飼養衛生管理基準の遵守指導を実施。
- 外国人従業員向けに6言語の「飼養衛生管理の基本行動」を学ぶ動画を作成し、研修会を開催するとともにホームページで公開。

【2 迅速な防疫措置】

- 連続発生時など県の職員のみでは対応が困難となることを想定し、市町や民間事業者から協力を得る協定を締結。
- 防疫措置の早期完了を目指し、殺処分鶏の埋却予定地について事前に現地調査を実施。

【3 財政支援】

- 令和4年度には、まん延防止対策及び畜産経営体の損失補てんに、3,640百万円(国:1,725百万円、県:1,915百万円)を予算措置。

≪補助対象外(県10/10)≫

中継基地運営費、家畜防疫員以外の旅費、暖房器具賃借料及び燃料費等

課題

【1 発生予防】

- 高病原性鳥インフルエンザが発生した農場における様々な感染経路があると考えられることから、科学的根拠に基づく原因究明や有効な対策を確立し、発生予防対策の強化を図ることが重要である。
- ワクチンを使用している国の使用状況やその有効性、また、そのほかの国のワクチン使用に対する検討状況を踏まえ、日本におけるワクチン使用に対する考え方を継続して検討する必要がある。

【2 迅速な防疫措置】

- 過去に鳥インフルエンザが発生した農場では、新たな埋却場所の確保が困難である。
- 海外においては火力発電所において焼却処分をしている事例があり、あらゆる焼却処分の方法を検討する必要がある。

【3 財政支援】

- 家畜伝染病が大規模に発生した場合、現在の補助率や補助対象品目では、都道府県における財政負担が重い。
- 高病原性鳥インフルエンザの発生により、大型養鶏場は経済に与える影響が大きい。さらに、発生及び移動制限を受けた農場と取引のある関連事業者は、経営への影響が大きい。